

# こんにちは 野々市市議会です



野々市小学校増築にかかわる

平成28年度補正予算などを議決 … 2P

予算決算常任委員会で議案審議 … 3P

9月定例会一般質問 10人が登壇 … 4P

子ども議会を開催 … 14P

議会運営委員会視察ほか … 15P

市民の声 … 16P

子ども憲章に照らし合わせ市政を質す 富陽小学校児童による子ども議会の一コマ  
(掲載にあたっては関係者のご了解を得ています)

議会だより

11号

2016年(平成28年)



# 平成28年度補正予算及び 平成27年度各会計決算を 可決・認定

平成28年9月議会は、9月6日から28日までの23日間の会期で開催し、市長提出の議案18件と報告3件を審査し、いずれも全会一致ないし賛成多数で可決・認定しました。

平成28年度一般会計補正予算では、8月開催の子ども議会で提案された富陽小学校の遊具の補修予算提案などを議決しました。また、人事案件では制度改定後初めての野々市市教育委員会教育長の任命並びに教育委員会委員の任命については全会一致で同意しました。



## 議決結果一覧

平成28年9月定例会			○=賛成、×=反対 ※議長（早川 彰一）は採決に加わりません。															
	議案名	議決日	議決結果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第38号	平成28年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第39号	平成28年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成28年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成27年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第42号	平成27年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第43号	平成27年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第44号	平成27年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第45号	平成27年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成27年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成27年度野々市市公共下水道事業会計決算認定について	9月28日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	野々市市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	町の区域を新たに画し及び変更することについて	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	「特定事業契約の締結について」の議決の一部変更について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	財産の取得について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第52号	市道路線の廃止について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	市道路線の認定について	9月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	野々市市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	9月28日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月28日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第5号	北朝鮮の核実験を極めて強く非難する決議	9月13日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 議案を審議しました

## 予算決算常任委員会

9月15・16・20・21・23・27日の6日間

**Q** 富陽小学校の遊具の改修工事は、予算が通った後はどれくらいの時期に設置するのか。

**A** 本会議における市長答弁にもあったが、子どもたちの要望を最大限に取り入れる作業を行い、出来れば本年11月ごろには何とか設置できないかと考えている。

※この事案は、8月4日開催の子ども議会でも富陽小学校児童からの要望として出されていた質問事項でもあります。



富陽小学校の経年劣化で遊べなくなった遊具

**Q** プレミアム付商品券事業において、2億6千7百万円余りの売り上げがあるが、大型店舗と地元商店街での消費割合のデータは。地元商店への波及効果はあったのか。

**A** 商工会提出の使用先金額ベースのデータでは、いわゆる大型店（大手スーパー・大手量販店・ドラッグストア等）での売り上げが、約82%、その他で約18%というデータとなっている。



大型商業店舗での利用が金額ベースで8割強

**Q** 地域包括ケアシステムの基盤整備事業における外部委託者からの事業提案について、一番大事な部分である、その成果の評価判断を示せ。（教育福祉分科会）

**A** 特に、市の職員の意識醸成が出来たことが挙げられる。また、実態把握を行ったことで現状・課題の整理が出来た。これらの成果をもとに平成28年度の事業の構築ができ、引き続き同じ委託者での継続が望ましいと判断した。

※委員からは、PDCAサイクルの確立のためにも、成果評価を次につなげる説明・提案を行うよう要望が出た。

**Q** 市長からの議会第1日目の冒頭説明にもあった、川北町からの広域事務組合への加入打診について今後の展開は。様々な資機材・庁舎の更新もあると聞いているが。（総務産業常任委員会）

**A** 加入打診後、日も浅く、これから協議をスタートさせることになる。議会へは機会をとらえて必要に応じ、協議の状況を伝えていきたい。





辻 信行 議員

## 堀内上林線拡張工事の早期完成を目指すべきではないか

中林土地区画整理事業での工事着手を平成30年度に予定している

Q

「八曜の剣」巻末の富樫氏500年のあゆみと」のい

歴史読本について

この路線は、中林土地区画整理事業による区画整理区域の整備と区域外の市の事業の2つの事業で整備を行うこととなりますが、まずは土地区画整理事業での工事着手を平成30年度に予定しております。また、区画整理区域外の整備につきましては、本市の重要な幹線道路でありますことから、順次、土地区画整理事業との調整を図りながら整備を行っていきたくと考えております。

**A 産業建設部長** ●都市計画道路堀内上林線は、国道157号線の堀内北交差点から加賀産業開発道路の上林交差点までの総延長約3.6キロメートルの本市を縦断する重要な幹線道路であり、平成27年10月に都市計画決定の変更を行っております。

**Q** 西側幹線道路の堀内上林線は整備率40%に満たない路線であり明倫高校や県立大学の生徒学生も多く利用しておりますが、下林西交差点以南には歩道が整備されていない。

**A** 産業建設部長 ●都市計画道路堀内上林線は、国道157号線の堀内北交差点から加賀産業開発道路の上林交差点までの総延長約3.6キロメートルの本市を縦断する重要な幹線道路であり、平成27年10月に都市計画決定の変更を行っております。

「八曜の剣」巻末の富樫氏500年のあゆみと」のい



のいち歴史探訪

国語版の効果と考  
えており  
ますが、

**Q** デジタル資料館の外国語版の評価・効果を問う。

**A** 市長 ●英語、中国語、朝鮮語に翻訳したもので、海外からのアクセス数は、4月から8月末にかけてイギリス、韓国をはじめ431件あり、4月以降、重要文化財「喜多家住宅」に、海外から10名ほどの見学者が来られたことも、外国語版の効果と考

**A** 市長 ●平成23年11月11日市政施行を記念して刊行しました「のいち歴史探訪」や本年3月に刊行の「八曜の剣 加賀・富樫氏の物語」は市内の一部書店にて販売しております。また「図説 野々市町の歴史」や「野々市町史」などを発行しておりますが、今後はこれらの書籍をいかに活用していくことが大切であると考えております。活用や発信の仕方については、いろいろとこれからも検討してまいりたい。

**A** 市長 ●この計画の理念は、後期基本計画においてスポーツ団体の育成の施策の中に引き継がれており、中央公園拡張計画についても同じく、憩いと安心に満ちた緑の空間づくりの施策の中にそれぞれ引き継がれております。中央公園内にある体育施設については、公園拡張構想との整合を図り、整備の在り方を検討してまいりたい。その他の体育施設については、公共施設等総合管理計画の方針を踏まえて検討したいと思っております。

**Q** 体育施設計画と中央公園拡張計画は、第1次総合計画の後期基本計画にどの様な位置づけで反映されているのか。

**A** 市長 ●この計画の理念は、後期基本計画においてスポーツ団体の育成の施策の中に引き継がれており、中央公園拡張計画についても同じく、憩いと安心に満ちた緑の空間づくりの施策の中にそれぞれ引き継がれております。中央公園内にある体育施設については、公園拡張構想との整合を図り、整備の在り方を検討してまいりたい。その他の体育施設については、公共施設等総合管理計画の方針を踏まえて検討したいと思っております。



八曜の剣



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/pm1mWl>



西本 政之 議員

## 小学校に配置される看護師の運用方法は？

当面は週1日程度、学校に派遣したいと考えております

Q

今後、医療的ケアが必要な児童が増えた場合には、看護師も増員するのか。

**A** 市長 ●本市において医療的ケアが必要な児童が1名、小学校に在籍している。本年4月に施行された、障害者差別解消法では、障がい者が他の人々と同じように日常生活や社会生活を送る上で必要な合理的配慮がなされなければならないことが明記されており、専門資格を有する看護師を学校に配置する制度の必要が生じてきた。今年度公立小中学校に看護師を配置する国の補助事業が創設されたので、本市では直ちに県へ申請し、補正予算に看護師への賃金を計上した。今後、速やかに運用の詳細を定め、保護者の要望も踏まえ、当面は看護師1名を週1日程度学校に派遣したいと思う。

**Q** 私が議員に初当選した当初から、公立学校の特別支援教室に看護師を配置して欲しいと訴えてきた。医療的ケアが必要な児童が市立の小学校に入学したことがきっかけだった。今回やっと看護師の人員費が予算に計上されたが、具体的な運用方法を示せ。

Q

現在「のっティ」は一部金沢市へ乗り入れをしている。

連携中核都市圏における公共交通の充実について

**A** 市長 ●8月に行われた子ども議会において、富陽小学校の皆さんが遊具の改修についての質問をされた。上級生と下級生の繋がりを生み出していたジャンブルジムに対する熱い思いや、自分たちで出来ることは何かを真剣に考える姿勢に深く感銘を受けて、その気持ちに応えたものだ。具体にはジャンブルジムの想定しているが、選定については、子どもたちの考えや希望を最大限取り入れながら整備していきたい。

**Q** 今年の子ども議会での子ども達の要望に応えるかたちで、富陽小学校の遊具の改修のための予算が計上された。今回の改修の具体的な中味を示せ。

小学校の遊具改修について

**A** 市長 ●これからいろいろなケースが想定されると思うが、それぞれの状況に応じて対応できるように努めたい。

Q

白山野々市広域事務組合に川北町から加入の申し入れがあった。市長の考えを問う。

**A** 市長 ●住民の暮らしに直接かかわる大変重要な案件である。川北町、白山市、白山野々市広域事務組合として本市による丁寧な議論を重ね、また議会や関係機関と協議調整を図りながら進めていかなければならないと考えている。

**Q** 白山野々市広域事務組合に川北町から加入の申し入れがあった。市長の考えを問う。

広域事務組合について

**A** 市長 ●連携中核都市圏の枠組みの中に民間事業者も加えて協議していききたい。

「のんきー」はJR野々市駅と松任石川中央病院をつないでいる。市民からは以前から、赤十字病院やつるぎ病院までの通院の足や錦丘高校、泉丘高校、二水高校までの通学の足を求める声がある。圏域の市民の通院や通学の利便性を向上させることを最優先に、金沢市、白山市に民間鉄道会社を加えて協議せよ。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/uZS0xn>







**宮前 一夫 議員**

**野々市じょんからまつり  
開会式や祭りのあり方の見直しを図れ**

開会式のあり方については、幅広い観点から、内容の見直しも含め、実行委員会で検討されるであろう

 栗市長が「まさに今は、地方創生の時代と言われており、本市の、のいち創生総合戦略においても《選ばれる。まち》をめざして》を基本目標としており、《自分たちが手作りで良いまちを創る》、《自分たちで楽しめるまちを創る》、《自分たちでそうした市民の皆様が市民協働の思いの象徴であると思っている》と位置づけられる「野々市じょんからまつり」。今年のじょんからまつりにおいても、延べ3万人余りの来場者数があったとの報告も受けており、商工会・野々市じょんから節保存会をはじめ、各関係団体、関係者の皆様のご協力により、市内外からご来場いただいた多くの方々に楽しんでいただいている。

8月開催の総務産業常任委員会において、今年の野々市じょんからまつりの実施報告に際し、委員の方から「開会式のありかたについて」質問が出されたが、開会式の時間の問題、開会式の次第についてという、2つの観点の指摘について伺う。

 **市長** ● 開会式は、まつりの幕開けに欠かせない、重要なイベントであり、まつりの開催に携わる

方や関係者への感謝の思いを込めることはもちろん、じょんからまつりの気運を盛り上げるために必要なもの。質問の開会式のあり方については、内容の見直しも含めて実行委員会で検討いただけるものと考えている。

**多額の事業補助金をしっかり生かした事業に**

**Q** 市として実行委員会に事業費として毎年1,400万円余りの経費補助を行う以上、その「まつり」の在り方についてどう考えるのか伺う。

**A** **市長** ●「じょんから」と言えば「野々市」「野々市」と言えば「じょんから」と呼ばれるように、この「じょんからまつり」は、約3万人を集める、県内でも有数の「フェスティバル」として広く知られている。市民の皆さまをはじめ、来場しただけで多くの方々が思いのままに楽しむ様子は、まさに「市民フェスティバル」と言えると思っている。また、踊り手も囃子方も、普段の練習の成果を披露する格好の場として、楽しみにしており、さらに次世代を担う子どもたちがこの場に触れることで「野々市にはじょんからが

あるという  
想いが育  
まれてく  
る。これか  
らも次代へ  
伝承してい  
く「大事な  
場」として  
市としての  
一大イベン  
トとして、  
「市民参加  
型」により  
「伝統文化  
と市民の交流」をさらに発展させてい  
きたい。



野々市小学校増築予定地 フォルテ第1駐車場  
グラウンドへの出入り口が狭小に…

**Q** 野々市小学校の増築により、  
現在のフォルテ第1駐車場部  
分に建物が立ち、飲食スぺースへの  
影響や会場のフォルテ側と小学校グ  
ラウンド側の一体感がなくなるのでは。

**A** **市長** ● 増築校舎の1階部分  
をピロティ化するなどで、活  
用できる空間への影響を最小限にで  
きるものと考ええる。



 一般質問を動画でご覧いただけます。  
 ※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
 PC からは、 <https://goo.gl/qWtiRj>




**中村 義彦 議員**

## 歴史まちづくり法の適用による街並み 整備及び、伝統文化の継承を問う


まちづくりの手法としては、国のどのような制度をどのような形で活用するか検討したい




旧北国街道の空きビル、空き家対策、無電柱化未整備区間の整備促進、古民家保存復元、地域の伝統文化維持促進によるコミュニティの再生や、観光資源として活用する為に、歴史まちづくり法の適用を目指す。




**市長** ● 空きビル、空き家対策、無電柱未整備区間の整備促進、古民家の保存復元をはじめ、獅子舞、野菜みこしなど地域の伝統行事の維持促進など、地域の皆さんの意見を伺う機会を通じ、議論をし、まちづくりの手法について歴史まちづくり法などの国の制度をどう活用できるか、今後しっかり検討したい。




野々市版コンパクトシティで公共交通の充実を図れ



地域公共交通協議会で、のっティ、のんキーの定期券等の議論の状況は。



**企画振興部長** ● 現在イベントに合わせて一日乗車券を試行的に実施し、利用者ヒアリング等を通じ、引き続き協議会で検討したい。



石川中央都市圏の北鉄石川線から北陸本線西金沢駅へ

相互乗り入れの可能性の有無及び議論の状況は。

**A** **市長** ● 北鉄石川線と北陸本線西金沢駅との相互乗り入れは事業者も大変厳しいとの認識であるが北鉄石川線が地域の愛される足として安全運転の支援、利便性の向上のため近隣自治体、鉄道事業者と協議を引き続き進めたい。


**Q** 3年後に完成予定のにぎわい交流ゾーン周辺（旧役場跡）へのじよんからまつり会場移転の可能性は。

**A** **市長** ● にぎわい交流ゾーンについては活気に満ちた「市」のにぎわいを創出してきたいと考えている。じよんからまつりの会場問題については将来の祭りの発展、拡大を考える上で実行委員会の意見、市民の思いを受け、方向性を協議のうえ、決定したいと思う。

**新中央公民館への本町児童館編入の可能性は**



にぎわい交流拠点施設イメージパース

 一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PC からは、 <https://goo.gl/rn6Q65>







五十川 員申 議員

## 本市の状況にあった防災訓練を 拡充せよ

より効果的な訓練をこれから展開  
できるように努めてまいりたい

**Q** 防災において、本市の特性を知り、準備することが重要です。これから行う提案を建設的に捉えてもらう為に、国勢調査の結果から本市における夜間人口、昼間人口、野々市市に通勤通学するものの状況を教えてください。

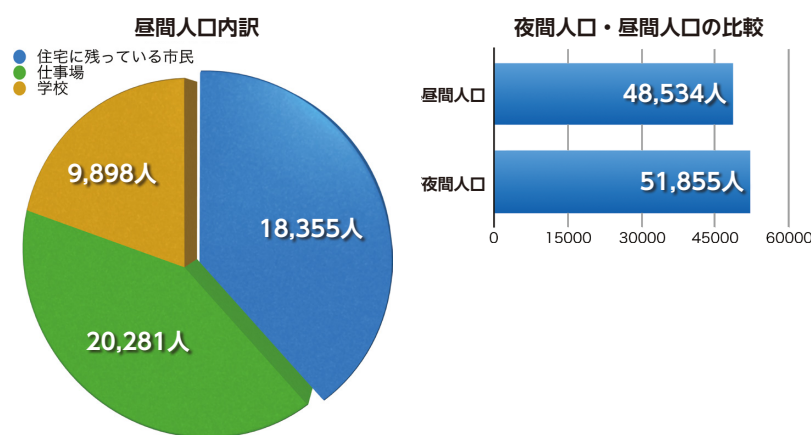
**A** 総務部長 ●平成27年に実施されました国勢調査の確定結果は、まだ公表されていない為平成22年の結果に基づいて説明します。夜間人口5万1885人、昼間人口4万8534人、野々市市に通勤するものは、本市民を含め2万281人。本市に通学するものは、本市民を含め9898人となっております。

**Q** 数値を元に防災を考えますと、単純に夜間人口、昼間人口を比較すると、答弁のあった通り昼間は本市の人口は3351人ほど少ないという程度で、一見、市内には多くの方がいらっしゃるのに見えます。しかし、実際には先ほどの答弁でもあったように、学校に9898人、仕事場に2万281人の方が行っており、合算しますと3万179人の方が、仕事場もしくは、学校に行っているという状況です。こ

の数値を先ほどの昼間人口から引きますと、1万8355人になります。これがおよそ実際に住宅街に残っている市民の方となります。これは夜間人口（一般的に野々市に住まれている方の数値）と比較すると、昼間は、35%しか住宅街にいないというふうに推測できます。また、必然的にこの35%は生産年齢人口でない方が残る形になります。働き手、動ける人がいない街の中で地域には、ご高齢の方や、小さなお子さんとお母さんというような方々だけが残るという状況が往々にしてあるのではないかというのが国勢調査の結果から読み解けます、このような本市の状況に対して市長の認識を伺う。

**A** 市長 ●1週間のうち5日間、は平日であり、そのような状況を想定した訓練が必要なのは十分認識している。

**Q** 本市において防災訓練もあ



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/7H1s8S>



大東 和美 議員

## 平成28年4月から施行となった 「障害者差別解消法」への対応を問う

県・市では、障害を理由とする差別の  
相談窓口を設けて対応している

**Q** 今年の4月から施行になった「障害者差別解消法」の法律の目的、法的義務、合理的配慮と、本市の相談窓口、その他の相談窓口を伺う。

**A** 健康福祉部長 ●この法律は、障害のある人もない人も互いに尊重し合いながら共生する社会を作ることを目的としている。不当な差別的扱いの禁止や合理的配慮の提供を定めている。障害を理由とする差別に関する相談窓口は県や市に設置され、本市では福祉総務課が相談窓口である。

**Q** 救急体制の現状と課題について伺う。

**A** 健康福祉部長 ●電話による119番通報が困難な方にはFAXや携帯メールを事前に白山野々市広域消防本部に登録し、出動するシステムとなっている。今後はスマートフォンにも対応を検討中。

**Q** 野々市市の障害のある人や子どもに関する相談窓口

◇野々市市福祉総務課、障害福祉係  
FAX：076-227-6251  
TEL：076-227-6063  
fukushi@nonoichi.lg.jp

◇その他  
県中央保健福祉センター（本多町）  
県こころの健康センター（穀月町）  
県石川中央保険福祉センター（白山市）

**Q** 4年後の東京パラリンピックまでに取り組む事業はあるか。

**A** 市長 ●来年度、第2期障害者基本計画を策定し、ハード、ソフトの両面において障害者にやさしいまちづくりに努めたい。

**Q** 本市では、「公共施設総合管理計画」を策定し、公共施設の実態を把握し、更新の見直しは、うまくいくのか。例えば、「水の安全性」、水道管の更新、耐震、水道代などについて。

**A** 産業建設部長 ●今年度中に策定できるように検討中であり、来年度以降に道路、橋、建物、上下水道など個々の公共施設ごとの具体的な方針を定める個別計画を策定していく。水道管の老朽管は0.9%。耐震化は41.3%。漏水率は2%。維持管理費の大きな増加要因はなく、水道料金も現行の水準を保つよう努める。

**Q** 学校施設の市民開放にかける運営管理についての現状と課題、今後の方針について伺う。

**A** 教育長 ●学校行事を最優先に学校教育に支障のない範囲で現在、運動場及び体育館を開放している。毎年増加している。学校プールを開放することについては、不特定多数の方が利用するとなれば、監視業務の増加や学校施設全体の安全管理面の強化が必要となり、市民に開放することは考えていない。

**Q** 本市の公共施設の現状、課題、市民の意向の把握及び今後の方針について伺う

**A** 市長 ●現在、利用状況、維持管理費、将来予測など課題を整理している。計画がまとまればパブリックコメントを実施する予定。＊今回の2つの法律が融合され、今ある公共施設を生かしながら、市民サービスが向上することを願う。



ののいちの水



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/vBYV5q>





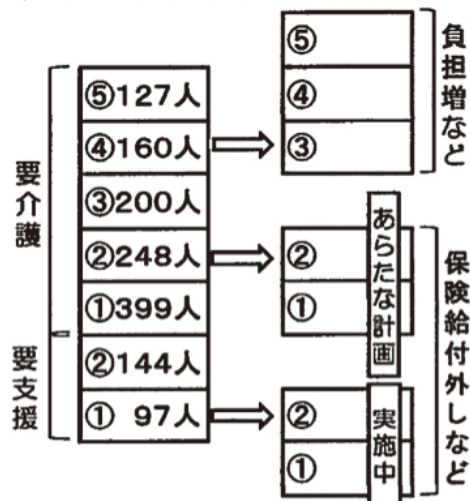
岩見 博 議員

## 介護保険制度の「見直し」で65%の人が全額自己負担に

「見直し」議論が始まったところで  
推測で申し上げるのは適切でない

## 介護保険「見直し」のイメージ

平成28年3月末現在の本市の介護認定数による



いきたい。併せて、若者など、新たなボランティアを発掘・育成する講座を開催していく。

（図書館協議会委員について）市民の意見を取り入れた運営を行うことが大切と考えており、委員を公募で選ぶことも検討していきたい。

いきたい。併せて、若者など、新たなボランティアを発掘・育成する講座を開催していく。


新図書館乗り入れ、あすなる団地  
ルートについては、全体のルート見  
直しの中で検討していきたい。

象の期間限定無料乗り継ぎ券を配布し、3力所ある交通結節点での乗り継ぎの際に利用する方法を考えていきたい。

が始まったところで、推測で申し上げるのは適切でない。

「見直し」で、要支援1・2に続いて要介護1・2の訪問介護の生活援助サービスや、ベットの車いすなどの福祉用具の貸与サービスが保険給付対象から外され、全額自己負担となる。本市においても65%の人が対象になる。また、利用料を2割負担にすることも検討されている。サービスを必要としている人と家族を、さらに経済的・肉体的・精神的に苦しめることになるのではないか。

立した組織運営を行うことが大変重要だと考えており、運営の企画段階から参画し、意欲を持って活動して


 図書館ボランティアのみなさん、  
皆さんに図書館スタッフと車の両輪で図書館の支援、公開書庫の整理、広報、イベントの開催などに取り組んでもらうことも考えるべきではないか。

また、図書館協議会委員に、公募による委員とボランティア代表にも入ってもらう考えはないか。

「市民が参加し、支える図書館づくり」のために

小学生にのっティ乗り放題、  
乗り継ぎ自由の一日乗車券を

きたが実現の見通しは。

 夏休み期間中の小学生を対象に、のっティを利用してスポーツランドのプールへ行くのをはじめ、調べ学習で新図書館などの公共施設を利用する機会を増やす手段として、一日200円の乗り継ぎ自由、乗り放題ののっティ乗車券を販売してはどうか。

新図書館への北部ルートの乗り入

**A** 市長 ●夏休み期間中の日中の時間帯の利用促進を図る

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PC からは、 <https://goo.gl/VSz34B>



安原 透 議員

## 「小中学生に携帯電話を持たせない運動」について、今後は？

子どもたちが、情報を読み取る力《メディアリテラシー》向上のメッセージを発信していきたい

**A 市長** ●本市では長年、のい  
ちっ子を育てる市民会議を  
中心に携帯電話対策事業に取り組ん  
だ結果、現在の市内小中学生の携帯  
電話所持率が21・7%となっており、  
文部科学省の平成27年度調査結果の  
全国平均78・9%に比べても大変低  
い状況にある。しかし近年通信機器  
や提供されるサービスの多様化が急  
速に進む中、根本的な解決が難しい  
状況にあるのも事実である。今後は  
子どもたちが情報読み取る力、いわ  
ゆるメディアリテラシー向上の機運  
を高めるために、インターネット機  
器の賢い使い方等の、新たなメッ  
セージを発信していきたい。

**Q** 13年前に全国に先駆けて取り組み、そして発信してきた「小中学生に携帯電話を持たせない運動」について現在、インターネット通信機器を始め、取り巻く環境が激変している。今後どのように「持たせない運動」から発展し取り組めるか、本市の考え方を問う。

**青少年メディア対策連絡協議会**と情報を共有して

**Q** 塾や学童以外の子どもたちの居場所としての公民館のあり方について、本市の考え方を問う。

**A** **市長** ●地区公民館は地域の皆様の一人ひとりの趣味や能力を高め仲間作りや地域コミュニティづくりを行う社会教育施設として多くの皆様にご利用いただいている。近年、市内4つの地区公民館の年間延べ利用人数の合計は8万人を超え、平成27年度においては8万3,659人であった。現在の本市の公民館条例においてはその利用時間区分が午前、午後、夜間及び終日となっているが、より多くの方に施設をご利用いただけるよう、また短時間でも利用しやすいように、平成29年度から公民館やフォルテとの利用時間区分を1時間単位に設定することを考えている。

市民館①の利用時間や利用料金の改定の検討が必要である。本市の考え方を問う。

Q もっと幅広い市民の皆様に利用できるように、「地区公

H29年度から利用区分を1時間からに

## 地区公民館の運営について

の活用等も含め、積極的にその支援をして参りたい。

**A 市長** ● 現事業内容については地区公民館によってそれぞれ独自性もあり、創意工夫のもと各種事業を行っていた。意欲的、積極的に地域の活性化や学びの向上につながる取り組みについては、市としてもできるだけ応援していきたいと考えている。まずはその思いを市にご相談をしていただければ、国、県や民間の助成金制度等

**Q** 今後の新規事業・新しい取り組みについては、予算も含めた行政の後押しが必要と考える。本市の考え方を問う。

**A 市長** ●子どもたちの学びの場づくりを目的とした事業については、地域の皆様がそれぞれお持ちになる様々な知識や技能を子どもたちに伝えたり、楽しむことができるような地域独自の事業をぜひ実施してほしい。このことが地域のコミュニティづくりをいっそう推進することにもなると考えている。今後、私が進めている市民協働のまちづくりにもつながる、そのように期待をしている。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PC からは、 <https://goo.gl/EDuxt9>







土田 友雄 議員

## 新中央公民館内に歴史ゾーンを併設し、 富樫氏を活かしたまちづくりを図れ

野々市の歴史を語る上で富樫氏を欠かすことはできない  
どこに展示するかは別に、活かしたまちづくりをすすめたい

この『郷土の民話・伝説集』のほかにも、文化資源として保存・伝承する必要のある、郷土の本がいくつかありますので、『デジタル化をしてウェブ上で公開する』もの「同じ冊子として再発行する」、もの「新しい視点を加え、再編集し再発行す

す。

**Q** 昭和61年に発行された『郷土の民話・伝説集』は、それを読むことで、子どもも大人も地域の昔話に、そして歴史的な風土に夢を馳せるでしょう。郷土の文化を広めるためにも、新しい形で再発行を。

**A** 市長 ● いまほど、野々市の歴史・伝統・文化の発信と文化財関係の施設整備などについて様々なご意見も含め、ご提案がありました。『郷土の民話・伝説集』も、失われつつある郷土の文化の保存と継承を目的として発行したものです。この本のように発行年が古い本のなかには、現在野々市市ではデジタル化を図り、地域ポータルサイト『のいち地域辞典』の『デジタルブック』で閲覧できるようにしております。

また、施設への案内標識につきましては、現在の標識は小さく見えにくいこともあり、国道8号線からでも見やすい標識の設置を考えていきたいと思っています。

なお、御経塚遺跡及びふるさと歴史館の今後の活用につきましては、史跡公園内の発掘調査を実施し、それを基にした史跡再整備や、ふるさと

「史跡 御経塚遺跡」の活用について

**Q** 野々市市として大きに誇れる御経塚遺跡とふるさと歴史館。学びの時間を充実にするために改良と活用の構想を示せ。

**A** 市長 ● ご指摘の通り、大型バスが進入しにくい状況になっていますが、今後地元町内会や生産組合と協議し対応を考えていきたいと思っています。また、ふるさと歴史館の2階展示室への階段部分は、バリアフリーになっていないが、今後「公共施設等総合管理計画の個別施設計画」の中で検討していきたいと考えます。

市民 ● 市民は生涯学習を担ううえでその役割はたいへん大きいと思う。有効利用について今後どうするか問う。

**A** 市長 ● 今後は、社会教育法の規定や、民間営利社会事業に関する解釈についての文部科学省通知もふまえ、利用される方々には適切に対応していきたいと思っています。

また、公民館が地域における交流の場、学びの場として広く活用していただけるよう、運営面でも工夫していきたいと考えています。

### 公民館の有効利用について



御経塚遺跡 史跡公園の竪穴式住居（復元）

と歴史館の展示内容の充実を計画していきたいと考えています。



杉林 敏 議員

## 第27回全国椿サミット野々市大会に向けて、進捗状況について伺う

全国椿サミット野々市大会は、市制施行  
5周年を象徴する重要な記念大会である

**Q** 8月に実行委員会が開催され、準備が本格化する状況において、現時点における進捗状況と実行委員会においてどのようなことが決定されたのか伺う。

**A** 市長 ● 来年3月18・19日に開催する本大会について関係団体の皆様にご協力をお願いしながら野々市らしい温かいおもてなしができるよう準備を進め、市制施行5周年を飾るにふさわしい大会を目指します。

大会1日目は、市の魅力紹介映像の上映、「野々市じょんから踊り」の披露などが開幕を飾り、式典の後、椿に関するまちづくりにご尽力された方々へ感謝状贈呈式を行なう。

次に、栗田出身の米林宏昌監督からのビデオレター紹介、椿を用いた商品開発をする市内の女性二人と市長のトークセッション、花芸安達流二代主宰安達氏の記念講演、歌手・五島つばき氏のステージなどを行う。その後、野々市小学校体育館にて、大会参加者交流会を開催する。2日目の午前中にはボランティアガイドののいち里まち倶楽部のご協力を得て、市中央公園と旧北国街道の市内視察を実施する。

**Q** 保育料第2子無料化の本市の対応について

**A** 市長 ● 多子世帯の保育料の軽減については、国県等の制度改正にこれまでも歩調を合わせて実施している。

今回、第2子無料化することについては、保護者の子育てに関わる経済的な不安を和らげるうえで、効果のある施策だと思っているため、本市としても県に呼応して実施する。

実施時期については、県の制度に合わせて、規則を改正し、11月から実施したい。

**Q** 市総合計画には、中小企業の経営の安定化、近代化を図るため、融資制度の充実を図るとしているが、今後の市の取組みについて、どのように考えているのか。

**A** 市長 ● 今後の融資制度の充実については、中小企業の経営

環境に応じて、柔軟に制度を見直すことはもちろん、経営力の向上や時代に合わせた経営形態の変革を求め、異分野へ積極的に進出しようとする事業者や、事業承継を契機に新分野に挑戦する第二創業者などの支援を視野に入れながら、専門的知識を有する商工会や金融機関の方々と連携し、新たな制度の構築に努める。

**Q** 起業や創業希望者への支援の取組みの一環として策定された創業支援事業計画に基づく取組みの具体的な内容について伺う。

**A** 市長 ● 起業化支援については、は、商工会が主体となり、創業を希望する方、または、創業して間もない方を対象とした、創業に必要な経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識の習得のための「のいち創業塾」の年内開催に向けて、将来の担い手である学生や活躍が期待される女性に参加していただけるように、準備を進めている。

また、創業希望者の利便性を高めるために、商工会にワンストップ相談窓口を設置し、本市の相談窓口や金融機関との連携を密にすることで、各機関の情報を共有し、起業しやすい環境を整えたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/lvK25y>



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、 <https://goo.gl/1R72s7>



## 議会運営委員会（行政視察）



庄原市議会での視察

議会運営委員会は、8月24日から26日にかけて、議会改革に取り組んでいる、広島県安芸高田市、三次市、庄原市の3市の市議会を視察しました。

今回視察の3市に共通して言えることは、平成16年から平成18年にかけて複数の近隣自治体と広域合併していることです。また合併後の新しい議会のあり方を模索していく中で、秩序維持のための「議会基本条例の制定」など議員倫理を具体的に制定されていた。さらに、開かれた議会としての「議会報告会の開催」、正副議長の「立候補制」などを採用することで、「開かれた議

また、議会報告会を開催するほかに、「議会改革懇談会」を開催されたり、「議会請願及び陳情取扱要綱」の制定をするなど、単に掛け声だけの「開かれた議会」ではなく、「市民のための」「市民に分かりやすい」議会を目指しておられました。



三次市議会での視察

会」のあり方を実践されていました。

◆広島県庄原市議会  
庄原市議会の市議会だよりには、議会報告会の内容・結果が掲載されており、会場に來られた方はもちろん、來られなかった方にも、議会の動きなどがわかりやすい内容となっていました。

□考察□  
野々市市議会においては、議会報告会・大型プロジェクトに関する特別委員会の設置や、IT化への取り組みがほとんどなされていない状況です。

そのためにも、今回の視察をもとに、今後検討課題として具体的に引き上げ、議論を重ねていくことが各人に求められることと、視察委員全員が理解したところです。

（文責：議会運営委員長）

さらに、本会議のインターネット生中継映像配信や、議会改革研修会の実施、タブレットの各委員会への持ち込みによる効率化を行うなども大きな取り組みであるといえます。

今年の議会報告会では、選挙権年齢の引き下げを受け、初めて「高等学校を会場」に実施されたそうです。



会派室

## 人事

野々市市教育委員会 教育長  
堂坂 雅光（太平寺3丁目）

野々市市教育委員会 委員  
宮川 美保子（上林3丁目）

## 議会組織変更のお知らせ

### ◆議会運営委員会

委員長 土田 友雄  
副委員長 尾西 雅代  
委員 北村 大助  
宮前 一夫（新任）  
西本 政之  
辻 信行

# 子ども議会を開催しました

8月4日、富陽小学校の6年生 18名により行われ、各児童が議長として、また質問者として登壇しました。また、栗市長や各議員のみなさんが答弁者として、児童たちの「子ども憲章」に因んだ質問に答えました。この中で質問された、学校遊具の修繕については平成28年度一般会計補正予算にも組み込まれました。



Q 愛と和のひと声運動期間に、通学路で市民と一緒にあいさつ運動を行えないか、あいさつ啓発CMを作り流せないか。

A 地域の方々、見守り隊の方々と一緒に、元気よくあいさつ運動をしていただければよいと思います。フーテレビ・ノーゲームデーのCMのように出来ないか検討していきたいと思っています。



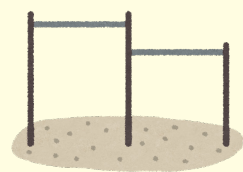
Q 壊れているジャングルジムを遊べる状態に修理できないか。

A 専門の会社の人に見てもらって、直せるものが、新しくした方がよいのかを判断してもらうことが大事であり、少し時間がかかると思います。



Q 鉄棒などの錆は補修後きれいにカラフルに塗りなおせないか。

A まずは、校長先生の許可を得て自分たちでできるか、業者の判断をいただきたいと思います。



Q 末松廃寺に七重の塔をイメージした遊具を整備してどうか？ またゆるキャラやリーフレットでPR出来ないか。

A 末松廃寺は、歴史的な史跡であり、難しい点もありますが、みなさんのご意見を受け止めて魅力ある末松廃寺跡の再整備に取り組みたいと思います。



Q ヤーコンを広める活動の中で、小学生でも参加して役立つかはあるか。

A 収穫体験や料理教室に参加してヤーコンのおいしさや素晴らしさをご家族や知り合いの人に広めてください。今後は、皆さんもたくさんアイデアを出し合ってご提案していただき、ヤーコンを広めてもらいたいです。



# 還暦を過ぎて思うこと

## 東 正俊さん(蓮花寺町)

昭和25年、旧郷村に生まれました。昭和31年合併により郷村から野々市町へ、小学校5年生までは郷小学校に通っていましたが、6年生から4地区統合された野々市小学校へ通うようになりました。今までの1クラスから4クラスと知らない同級生がいっぱいで戸惑いもあったように思います。その頃は見渡す限り田んぼしかなく、所々に集落がある程度でした。中学、高校と地元にいいましたが、それから暫く、県外に。

40年程前に、地元に戻ってきましたが、昔の田園風景は変わっていました。新しい道

が出来、スーパーや商店、住宅が出来、田んぼが随分減って都市化を強く感じた事でした。

2011年11月に野々市町も市になりましたが、市になって、「住みよさランキング」にいつも上位にランキングされる様になり、とても住民として誇りに思います。今日の



野々市市があるのは、町、市の指導による、開発事業のお陰かなと思います。

今、その土地区画整理事業に携わる様になり、諸先輩たちが野々市の為にどんなに努力されたのかを思う時、先輩の思いを大事に事業推進に励みたいと思います。



# 想い汲み上げ、魅力ある町づくりを

## 田中 陽子さん(本町3丁目)

本町通りの郷土資料館内で、「六日町かふえ」を開いて2年が経ちました。最近では、ご常連さんたちも増え、日々様々な話題に事欠きません。そんななかでやはり本町通りの空き家対策、旧庁舎（現図書館）、公民館、商店街の開発についてよく話題になります。小学校があった頃の話から、未来の希望する姿など、市街地の過疎は他の地の話ではないと、実

感しているからこそ、熱が入ります。地域の市議さんたちへの要望が増えるのも、必然で議会への傍聴へ出向く方々も多いようです。皆さんの真剣な想いが汲み上げられ、更に魅力ある町になっていけるよう、各々の立ち位置で協力しあっていかなければと思います。近頃新聞等では、議員の政務活動費の問題がよく取り上げられています。あまり気にかけてい



なかった事項でしたが、当市はどんなふうになっているのかしらと興味がありました。当市に限ってはと信じて止まないところであります。

## 12月定例会の日程が決まりました

- ▼期間  
12月5日(月)～12月20日(火)  
16日間
- ▼開会  
5日(月) 午前10時
- ▼一般質問  
12日(月)・13日(火)  
両日とも午前9時30分
- ▼予算決算常任委員会  
14日(水)・19日(月)  
両日とも午前10時
- ▼総務産業常任委員会  
15日(木) 午前10時
- ▼教育福祉常任委員会  
16日(金) 午前10時
- ▼閉会  
20日(火) 午後2時

議会傍聴をお願いします

